

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年11月12日

【四半期会計期間】 第116期第2四半期(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

【会社名】 株式会社東京會館

【英訳名】 Tokyo kaikan Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 藤原 幸弘

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内三丁目2番1号

【電話番号】 03-3215-2111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 鈴木 輝伯

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内三丁目2番1号

【電話番号】 03-3215-2111(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 鈴木 輝伯

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

| 回次 | 第115期 第2四半期 連結累計期間 | 第116期 第2四半期 連結累計期間 | 第115期 第2四半期 連結会計期間 | 第116期 第2四半期 連結会計期間 | 第115期 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日 | 自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日 | 自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日 | 自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日 | 自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日 |
| 売上高 (千円) | 4,917,314 | 4,735,277 | 2,135,150 | 1,979,046 | 10,768,590 |
| 経常利益又は 経常損失() (千円) | 136,509 | 279,957 | 341,843 | 443,091 | 246,400 |
| 四半期純損失() 又は当期純利益 (千円) | 166,265 | 189,931 | 263,466 | 285,354 | 93,030 |
| 純資産額 (千円) | | | 8,346,425 | 7,683,021 | 7,910,200 |
| 総資産額 (千円) | | | 13,711,337 | 13,030,811 | 13,303,227 |
| 1株当たり純資産額 (円) | | | 244.50 | 229.66 | 236.42 |
| 1株当たり 四半期純損失金額() 又は当期純利益金額 (円) | 4.87 | 5.68 | 7.72 | 8.53 | 2.75 |
| 潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | | | | | |
| 自己資本比率 (%) | | | 60.87 | 58.96 | 59.46 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (千円) | 9,382 | 101,266 | | | 609,154 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (千円) | 1,066,513 | 169,612 | | | 978,385 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (千円) | 91,954 | 84,623 | | | 336,636 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円) | | | 249,282 | 336,998 | 692,501 |
| 従業員数 (名) | | | 589 | 575 | 584 |

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 第115期第2四半期連結累計期間、第116期第2四半期連結累計期間、第115期第2四半期連結会計期間および第116期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第115期については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 従業員数は、就業人員数を表示しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容に、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

| | |
|---------|-----------|
| 従業員数(名) | 575 (280) |
|---------|-----------|

- (注) 1 従業員数は、就業人員数であります。
2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

| | |
|---------|-----------|
| 従業員数(名) | 547 (246) |
|---------|-----------|

- (注) 1 従業員数は、当社から子会社への出向者を除いた就業人員数であります。
2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期会計期間の平均雇用人員であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 仕入実績

当第2四半期連結会計期間における仕入実績は、次のとおりであります。

| | 仕入高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|--------|---------|------------|
| 料理飲料材料 | 353,874 | 8.9 |
| 食品製造材料 | 23,476 | 2.4 |
| 合 計 | 377,351 | 8.6 |

- (注) 1 当社グループの提供する食品及びサービスは、各事業部門間に複雑に関連し、事業単位で生産実績を記載することができないので、基礎的な材料の仕入額を記載しております。
2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結会計期間における受注実績は、次のとおりであります。

| | 受注高(千円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|--------|-----------|------------|-------------|------------|
| 宴会 | 1,237,232 | 12.6 | 2,713,483 | 8.7 |
| (一般宴会) | (910,316) | 12.3 | (1,982,476) | 6.6 |
| (婚礼) | (325,087) | 12.0 | (715,027) | 15.0 |
| (展示会) | (1,829) | 199.1 | (15,980) | 15.3 |
| 売店他 | 208,529 | 11.2 | 32,151 | 12.1 |
| 合 計 | 1,445,761 | 8.4 | 2,745,634 | 8.8 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績は次のとおりであります。

| | 販売高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|-----|-----------|------------|
| 宴会 | 1,063,991 | 1.7 |
| 食堂 | 707,880 | 17.4 |
| 売店他 | 207,175 | 10.8 |
| 合 計 | 1,979,046 | 7.3 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期のわが国経済は、経済対策の効果などにより最悪期を脱し、景気はようやく下げ止まりの兆しがみえてきたとの見方もありますが、依然として雇用・所得環境が悪化するなか、個人消費が冷え込むなど、経営環境は一段と厳しい状況となりました。

このような経済情勢のもとで、当社グループの第2四半期連結会計期間の業績は、企業業績悪化による法人需要の低迷、個人消費マインドの冷え込み、加えて新型インフルエンザによる影響や、本年3月末および4月末に経団連ゲストハウスと品川営業所をそれぞれ閉鎖したことなどにより、売上げが落ち込みました。

宴会部門につきましては、一般宴会は、企業業績悪化による企業・団体などの大口宴会の受注が減少し、さらに新型インフルエンザの影響によるキャンセルが相次ぐなど苦戦を強いられました。婚礼につきましては、当社ならではの強みや特色を活かした高級感のあるブライダルフェアを数多く開催し、受注確保に取り組んだ結果、本館をはじめ浜松町東京會館など各営業所とも堅調に推移しました。

食堂部門につきましても、前述の営業所閉鎖の影響や企業の接待利用の低迷、個人消費マインドの冷え込みに加え、新型インフルエンザによる影響などにより、売上げは落ち込みました。

その結果、当グループの連結売上高は1,979百万円（前年同四半期比7.3%減）となり、経費面におきましては、引き続き徹底した原価管理と全社的な諸経費の削減、業務全般の効率化を推し進め、収益向上に全力を傾注いたしましたが、本年3月末の株式相場的大幅下落などによる退職給付費用の増加や例年どおり、夏場の不需要期を含む季節的要因もあり、連結営業損失は447百万円、連結経常損失は443百万円、連結四半期純損失は285百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度末比272百万円（2.0%）減少して、13,030百万円となりました。流動資産は同419百万円（17.0%）減少の2,053百万円、固定資産は同146百万円（1.4%）増加の10,977百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金、売掛金が減少したことなどによります。

固定資産のうち有形固定資産は、83百万円増加の7,866百万円となり、その主な要因は、本館客用エレベーターの改修などで328百万円増加し、減価償却実施額や資産の除却で減少したことなどによります。

投資その他の資産は、62百万円増加の3,104百万円となり、その主な要因は、前連結会計年度末からの株価の回復を受けて保有有価証券の評価益が回復し、投資有価証券が増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比45百万円（0.8%）減少して5,347百万円となりました。流動負債は同39百万円（2.3%）減少の1,687百万円、固定負債は同5百万円（0.1%）減少の3,660百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、未払金が増加したものの、買掛金、賞与引当金などがそれぞれ減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末比227百万円（2.9%）減少して7,683百万円となりました。
主な要因は、配当の支払いを行い、四半期純損失を計上したことなどによります。

（3）キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、第1四半期連結会計期間末に比べ346百万円減少し、336百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は321百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。
これは主に税金等調整前四半期純損失466百万円に減価償却費117百万円の非資金取引による増加、売上債権の減少額293百万円やその他の流動負債の減少額302百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は14百万円（前年同四半期比97.0%減）となりました。
これは主に定期預金の払戻による収入230百万円や定期預金の預入による支出180百万円、保険積立金の積立による支出81百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は9百万円（前年同四半期比37.3%減）となりました。
これは主に配当金の支払額8百万円等によるものであります。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更ならびに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 89,000,000 |
| 計 | 89,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成21年11月12日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|------------------------|
| 普通株式 | 34,639,434 | 34,639,434 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数は1,000株であり ます。 |
| 計 | 34,639,434 | 34,639,434 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成21年9月30日 | | 34,639,434 | | 3,700,011 | | 925,002 |

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|--|---|---------------|------------------------------------|
| タイヨー パール ファンド エル ピー (常任代理人 シティバンク銀行 株式会社) | C/O WALKERS SPV LIMITED,WALKER HOUSE, 87MARY ST. GEORGE TOWN, GRAND CAYMAN KY1-9002, CAYMAN ISLANDS (東京都品川区東品川 2 - 3 - 14) | 4,134 | 11.93 |
| サントリーホールディングス株 式会社 | 大阪府大阪市北区堂島浜 2 - 1 - 40 | 3,131 | 9.04 |
| 日本生命保険相互会社 | 東京都千代田区丸の内 1 - 6 - 6 日本生命証券管理部内 | 1,916 | 5.53 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内 2 - 7 - 1 | 1,655 | 4.78 |
| 株式会社みずほコーポレート銀 行 | 東京都千代田区丸の内 1 - 3 - 3 | 1,503 | 4.34 |
| 三菱地所株式会社 | 東京都千代田区大手町 1 - 6 - 1 | 1,311 | 3.79 |
| 三信株式会社 | 東京都新宿区西新宿 1 - 6 - 1 | 1,295 | 3.74 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 東京都千代田区丸の内 2 - 1 - 1 | 1,054 | 3.04 |
| 富国生命保険相互会社 | 東京都千代田区内幸町 2 - 2 - 2 | 1,008 | 2.91 |
| 阪急阪神ホールディングス株式 会社 | 大阪府大阪市北区芝田 1 - 16 - 1 | 1,001 | 2.89 |
| 計 | | 18,011 | 52.00 |

(注) 当社は、自己株式1,185千株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------------------|----------|-----------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 1,185,000 | | 株主として権利内容に制限のない、 標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 33,145,000 | 33,145 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 309,434 | | 同上 |
| 発行済株式総数 | 34,639,434 | | |
| 総株主の議決権 | | 33,145 | |

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式160株が含まれております。

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-----------------------|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式 会社東京會館 | 東京都千代田区丸の内 3-2-1 | 1,185,000 | | 1,185,000 | 3.42 |
| 計 | | 1,185,000 | | 1,185,000 | 3.42 |

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

| 月別 | 平成21年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 最高(円) | 359 | 353 | 350 | 378 | 418 | 395 |
| 最低(円) | 331 | 315 | 308 | 342 | 360 | 363 |

(注) 株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、本四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、きさらぎ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 616,998 | 1,022,501 |
| 売掛金 | 447,948 | 613,750 |
| 有価証券 | 419,877 | 409,648 |
| 商品及び製品 | 68,927 | 67,572 |
| 仕掛品 | 7,795 | 6,364 |
| 原材料及び貯蔵品 | 83,005 | 80,796 |
| 繰延税金資産 | 278,787 | 138,631 |
| その他 | 135,864 | 136,737 |
| 貸倒引当金 | 5,876 | 3,396 |
| 流動資産合計 | 2,053,329 | 2,472,605 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 4,152,825 | 4,071,335 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 159,394 | 156,900 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 471,096 | 471,117 |
| 土地 | 3,083,082 | 3,083,082 |
| 有形固定資産合計 | 7,866,399 | 7,782,436 |
| 無形固定資産 | | |
| 電話加入権 | 6,790 | 6,790 |
| 無形固定資産合計 | 6,790 | 6,790 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 920,975 | 856,660 |
| 繰延税金資産 | 1,326,922 | 1,370,693 |
| その他 | 865,206 | 818,198 |
| 貸倒引当金 | 8,853 | 4,240 |
| 投資その他の資産合計 | 3,104,250 | 3,041,313 |
| 固定資産合計 | 10,977,440 | 10,830,539 |
| 繰延資産 | | |
| 開発費 | 41 | 82 |
| 繰延資産合計 | 41 | 82 |
| 資産合計 | 13,030,811 | 13,303,227 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 195,823 | 232,265 |
| 短期借入金 | 370,000 | 370,000 |
| 未払金 | 624,523 | 471,018 |
| 未払法人税等 | 21,576 | 27,272 |
| 賞与引当金 | 112,280 | 160,960 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 26,696 | 31,000 |
| その他 | 336,188 | 434,313 |
| 流動負債合計 | 1,687,087 | 1,726,829 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 3,127,792 | 3,123,288 |
| その他 | 532,910 | 542,910 |
| 固定負債合計 | 3,660,702 | 3,666,198 |
| 負債合計 | 5,347,789 | 5,393,027 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,700,011 | 3,700,011 |
| 資本剰余金 | 3,654,271 | 3,654,271 |
| 利益剰余金 | 806,458 | 1,080,035 |
| 自己株式 | 444,471 | 443,173 |
| 株主資本合計 | 7,716,269 | 7,991,144 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 33,248 | 80,943 |
| 評価・換算差額等合計 | 33,248 | 80,943 |
| 純資産合計 | 7,683,021 | 7,910,200 |
| 負債純資産合計 | 13,030,811 | 13,303,227 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 4,917,314 | 4,735,277 |
| 売上原価 | 4,541,045 | 4,416,366 |
| 売上総利益 | 376,269 | 318,911 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 237,827 | 300,722 |
| 賞与引当金繰入額 | 15,418 | 10,880 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 3,989 | - |
| 貸倒引当金繰入額 | - | 7,000 |
| その他 | 304,286 | 297,110 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 561,522 | 615,713 |
| 営業損失() | 185,252 | 296,801 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,671 | 1,346 |
| 受取配当金 | 12,770 | 10,889 |
| 生命保険配当金 | 27,203 | 4,353 |
| その他 | 11,430 | 5,180 |
| 営業外収益合計 | 55,076 | 21,769 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,497 | 2,877 |
| 開発費償却 | 1,316 | 41 |
| コミットメントフィー | 1,375 | 1,375 |
| その他 | 143 | 631 |
| 営業外費用合計 | 6,333 | 4,924 |
| 経常損失() | 136,509 | 279,957 |
| 特別利益 | | |
| 受取補償金 | 120,000 | - |
| 特別利益合計 | 120,000 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | ¹ 130,024 | ¹ 14,100 |
| 固定資産処分損 | 15,925 | 10,620 |
| 減損損失 | 15,651 | - |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | ² 47,000 | - |
| 役員退職慰労金 | 28,321 | - |
| 特別損失合計 | 236,922 | 24,721 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 253,431 | 304,679 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,397 | 6,186 |
| 法人税等調整額 | 94,563 | 120,934 |
| 法人税等合計 | 87,166 | 114,747 |
| 四半期純損失() | 166,265 | 189,931 |

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 2,135,150 | 1,979,046 |
| 売上原価 | 2,197,931 | 2,120,401 |
| 売上総損失() | 62,780 | 141,355 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 123,887 | 146,121 |
| 賞与引当金繰入額 | 6,508 | 4,070 |
| 貸倒引当金繰入額 | - | 6,088 |
| その他 | 152,476 | 149,746 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 282,871 | 306,025 |
| 営業損失() | 345,652 | 447,381 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,265 | 639 |
| 生命保険配当金 | 1,345 | 2,799 |
| その他 | 3,372 | 3,072 |
| 営業外収益合計 | 6,983 | 6,510 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,757 | 1,440 |
| 開発費償却 | 658 | 20 |
| コミットメントフィー | 687 | 687 |
| その他 | 71 | 72 |
| 営業外費用合計 | 3,174 | 2,220 |
| 経常損失() | 341,843 | 443,091 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | ¹ 17,690 | ¹ 13,014 |
| 固定資産処分損 | 6,881 | 10,620 |
| 減損損失 | 15,651 | - |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | ² 47,000 | - |
| 特別損失合計 | 87,223 | 23,635 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 429,067 | 466,726 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 73,921 | 27,171 |
| 法人税等調整額 | 91,679 | 154,199 |
| 法人税等合計 | 165,600 | 181,371 |
| 四半期純損失() | 263,466 | 285,354 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失() | 253,431 | 304,679 |
| 減価償却費 | 221,099 | 230,922 |
| 減損損失 | 15,651 | - |
| 繰延資産償却額 | 1,316 | 41 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 53,517 | 4,504 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 191,959 | - |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 23,990 | 48,680 |
| 店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少) | 47,000 | 4,303 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 497 | 7,093 |
| 長期未払金の増減額(は減少) | 193,910 | - |
| 受取利息及び受取配当金 | 16,442 | 12,235 |
| 支払利息 | 3,497 | 2,877 |
| 支払手数料 | 1,375 | 1,375 |
| 有形固定資産除却損 | 130,024 | 14,100 |
| その他の特別損益(は益) | 120,000 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 228,314 | 165,801 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 12,685 | 5,238 |
| その他の流動資産の増減額(は増加) | 28,230 | 2,366 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 60,332 | 36,441 |
| その他の流動負債の増減額(は減少) | 476,428 | 106,902 |
| その他 | 354,721 | 10,000 |
| 小計 | 40,604 | 104,131 |
| 利息及び配当金の受取額 | 16,078 | 12,285 |
| 利息の支払額 | 3,492 | 2,862 |
| その他の収入 | 120,000 | - |
| 法人税等の支払額 | 82,598 | 6,558 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,382 | 101,266 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 430,000 | 180,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | - | 230,000 |
| 有価証券の取得による支出 | 698,131 | 199,839 |
| 有価証券の償還による収入 | - | 199,916 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 29,516 | 2,054 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 72,140 | 170,483 |
| 貸付けによる支出 | 5,200 | 5,402 |
| 貸付金の回収による収入 | 5,716 | 6,646 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 120,788 | - |
| 保険積立金の積立による支出 | 48,367 | 82,030 |
| 保険積立金の払戻による収入 | 90,338 | 33,633 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,066,513 | 169,612 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | 6,931 | 1,297 |
| 配当金の支払額 | 85,022 | 83,325 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 91,954 | 84,623 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,149,085 | 355,502 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,398,368 | 692,501 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 249,282 | 336,998 |

【簡便な会計処理】

| |
|--|
| 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
| 一般債権の貸倒見積高の算定方法 当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。 |

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末 (平成21年3月31日) |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1 有形固定資産の減価償却累計額 7,943,134千円 | 1 有形固定資産の減価償却累計額 7,672,465千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|----|-----------|-----------|---------|------------------|----------------|---|-----------|---|----|----|----|----------|-----------|-------|------------------|----------------|---|----------|
| 1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">種類</td> <td style="text-align: right;">金額</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">117,208千円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">3,965千円</td> </tr> <tr> <td><u>工具、器具及び備品</u></td> <td style="text-align: right;"><u>8,850千円</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">130,024千円</td> </tr> </table> | 種類 | 金額 | 建物 | 117,208千円 | 機械装置及び運搬具 | 3,965千円 | <u>工具、器具及び備品</u> | <u>8,850千円</u> | 計 | 130,024千円 | 1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">種類</td> <td style="text-align: right;">金額</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">11,598千円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">851千円</td> </tr> <tr> <td><u>工具、器具及び備品</u></td> <td style="text-align: right;"><u>1,651千円</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">14,100千円</td> </tr> </table> | 種類 | 金額 | 建物 | 11,598千円 | 機械装置及び運搬具 | 851千円 | <u>工具、器具及び備品</u> | <u>1,651千円</u> | 計 | 14,100千円 |
| 種類 | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物 | 117,208千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械装置及び運搬具 | 3,965千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>工具、器具及び備品</u> | <u>8,850千円</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 130,024千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物 | 11,598千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械装置及び運搬具 | 851千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>工具、器具及び備品</u> | <u>1,651千円</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 14,100千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 平成21年4月に品川営業所を閉鎖する為の、店舗閉鎖損失引当金繰入額であります。 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第2四半期連結会計期間

| 前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日) | | 当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日) | |
|---|----------|---|----------|
| 1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 | | 1 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 | |
| 種類 | 金額 | 種類 | 金額 |
| 建物 | 17,345千円 | 建物 | 10,950千円 |
| 機械装置及び運搬具 | 318千円 | 機械装置及び運搬具 | 672千円 |
| 工具、器具及び備品 | 26千円 | 工具、器具及び備品 | 1,391千円 |
| 計 | 17,690千円 | 計 | 13,014千円 |
| 2 平成21年4月に品川営業所を閉鎖する為の、店舗閉鎖損失引当金繰入額であります。 | | 2 | |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | |
|--|-----------|--|-----------|
| 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 | | 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 | |
| 現金及び預金勘定 | 679,282千円 | 現金及び預金勘定 | 616,998千円 |
| 預入期間が3か月超の定期預金 | 430,000 " | 預入期間が3か月超の定期預金 | 280,000 " |
| 現金及び現金同等物 | 249,282千円 | 現金及び現金同等物 | 336,998千円 |

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当第2四半期 連結会計期間末 |
|---------|-------------------|
| 普通株式(株) | 34,639,434 |

2 自己株式に関する事項

| 株式の種類 | 当第2四半期 連結会計期間末 |
|---------|-------------------|
| 普通株式(株) | 1,185,160 |

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当金の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|--------|
| 平成21年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 83,644 | 2.5 | 平成21年3月31日 | 平成21年6月26日 | 利益剰余金 |

- (2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

当社グループは、レストラン・宴会事業及びこれらに関連した業務を行う単一セグメントであり、事業の種類別セグメントは記載を省略しました。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

| 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末 (平成21年3月31日) |
|-------------------------------|--------------------------|
| 229.66円 | 236.42円 |

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

| 項目 | 当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末 (平成21年3月31日) |
|-----------------------------|-----------------------------------|--------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 7,683,021 | 7,910,200 |
| 普通株式に係る純資産額(千円) | 7,683,021 | 7,910,200 |
| 普通株式の発行済株式数(株) | 34,639,434 | 34,639,434 |
| 普通株式の自己株式数(株) | 1,185,160 | 1,181,443 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株) | 33,454,274 | 33,457,991 |

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期連結累計期間

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額() 4.87円 | 1株当たり四半期純損失金額() 5.68円 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|----------------------------|---|---|
| 四半期連結損益計算書上の四半期純損失() (千円) | 166,265 | 189,931 |
| 普通株式に係る四半期純損失() (千円) | 166,265 | 189,931 |
| 普通株主に帰属しない金額 | | |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 34,146,404 | 33,456,133 |

第2四半期連結会計期間

| 前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日) |
|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額() 7.72円 | 1株当たり四半期純損失金額() 8.53円 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

| 項目 | 前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日) |
|---------------------------|---|---|
| 四半期連結損益計算書上の四半期純損失()(千円) | 263,466 | 285,354 |
| 普通株式に係る四半期純損失()(千円) | 263,466 | 285,354 |
| 普通株主に帰属しない金額 | | |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 34,142,841 | 33,455,251 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月13日

株式会社東京會館
取締役会 御中

きさらぎ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤好生 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 後宏治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社東京會館の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社東京會館及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月6日

株式会社東京會館
取締役会 御中

きさらぎ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 星 野 紘 紀 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐 藤 好 生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社東京會館の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社東京會館及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。